Panasonic®

取扱説明書

ワイヤレスシステム
品番 SH-FX70

SH-FX70	
デジタルトランスミッター	SH-TR70
ワイヤレスシステム（本機）	SE-FX70

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(➜ 10～15 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

RQTX0162-MS

付属品

付属品をご確認ください。

□　**電源コード【K2CA2CA00010】**

お願い

- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- かっこ【　】内は、買い替え時の品番です。
  （品番は 2008 年 6 月現在のものです。品番は変更されることがあります。）
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。
  また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックグループのショッピングサイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。
詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp

ワイヤレス機能について

本システムは、2.4 GHz 帯の周波数を使用しているため、障害物で電波がさえぎられたり、周囲の環境（外部からの電波の混入など）や本機をご使用になる建物の構造（電波を反射しやすい壁など）により、音が途切れたり、雑音がでる場合があります。
下記の内容にご注意いただき、正しく設置してください。

■ 周波数表示の見方（定格銘板に記載）

2.4 OF1

- 2.4 GHz 帯を使用
- 変調方式が OFDM 方式
- 電波干渉距離 10 m 以下
- 全帯域を使用（2.4 GHz ～ 2.4835 GHz）

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。

- **分解 / 改造する**
- **本機底面に貼ってある定格銘板をはがす**

■ 使用制限

日本国内でのみ使用できます。

■ トランスミッターと本機の間に障害物を置かない

トランスミッターから電波が届く範囲は、最大で 15 m です。
トランスミッターと本機の間に障害物があると、電波の届く範囲は短くなります。

■ 電波干渉を生じるような機器から本機を離す

以下のような機器が近くにあるときは、本機をそれらの機器から離して設置してください。

- **Bluetooth、OA 機器、電話など：約 2 m 以上**
- **電子レンジ、無線 LAN 対応機器：約 2 m 以上**

本機は、これらの家庭用機器との電波干渉を自動的に避けるように設計されています。電波の干渉がある場合、接続したワイヤレス対応機器側でインジケーターが点滅し、リアスピーカからの音が途切れたり、雑音が出る場合があります。
これは本機が適切な周波数を選ぶときに起きる現象で、本機の故障ではありません。

■ 電波が反射しやすい金属物などの近くからできるだけ離す

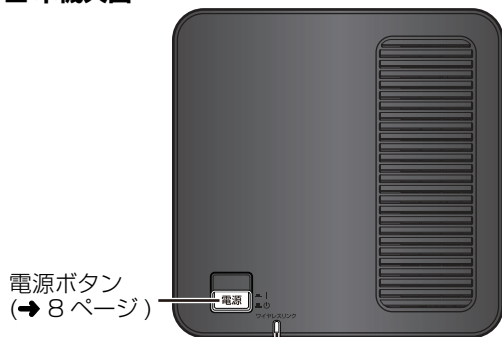
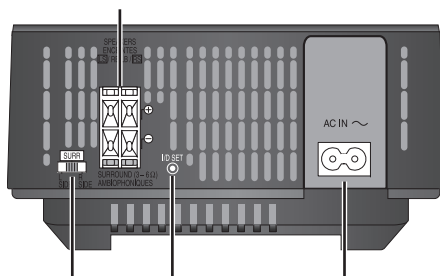
本機を設置する部屋に金属物や家具などがあると、電波が反射しやすくなり視聴位置によって音が途切れたり、雑音がでる場合があります。このようなときは、本機の位置をすこし動かすと改善される場合があります。
また、人の出入りが激しい部屋などに置いた場合も、電波が反射しやすくなりますので、ご注意ください。

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに場所を移動するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：**パナソニック株式会社**
パナソニック **お客様ご相談センター**
(➜ 18 ページ)

各部のなまえ

■ 本機天面

■ 本機背面

設置のしかた

本機とサラウンドスピーカー※、サラウンドバックスピーカー※を接続することで、5.1 チャンネルまたは、7.1 チャンネルのサラウンドサウンドを楽しむことができます。

※推奨別売品（2008 年 7 月現在）: SB-HS500A

準備

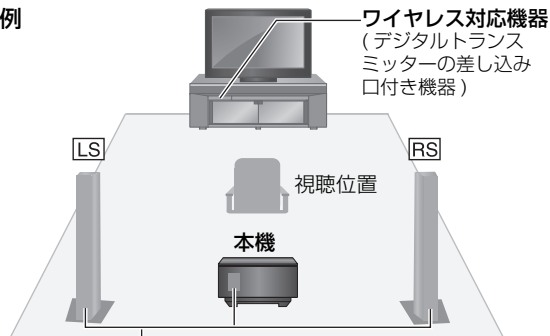
- 接続するすべての機器の電源を切ってから設置してください。
- 電源コードはすべての機器の設置・接続が終わってから接続してください。

お願い

- **正常な通信状態を保つため、本機やデジタルトランスミッターを金属製のキャビネット・本棚などの中で使用しないでください。**
- **サラウンドスピーカーを本機と接続する場合は、別のサラウンドスピーカーを対応機器に接続することはおやめください。**
- **ワイヤレス対応機器から約 15 m の範囲内に設置してください。**
- **本機は天面を上にし、水平に設置してください。**

■ 5.1 チャンネルのサラウンドシステムとして使う場合

- 図は 5.1 チャンネル対応機器と組み合わす場合

設置例

スピーカーコード (別売または市販)
サラウンドスピーカーは別売または市販です。

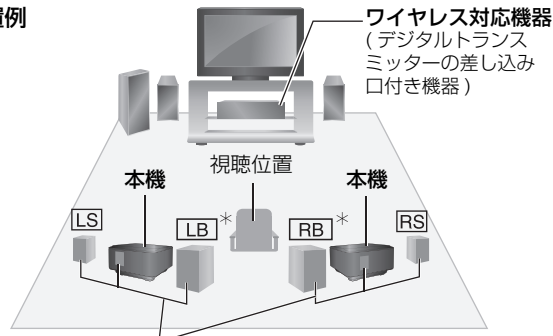
LS : サラウンドスピーカー (左)

RS : サラウンドスピーカー (右)

- **視聴位置の左右(横またはやや後ろ) に設置してください。**

■ 7.1 チャンネルのサラウンドシステムとして使う場合 (本機を 2 台使用する場合)

ワイヤレス対応機器が 7.1 チャンネル再生に対応していることをご確認ください。

設置例

スピーカーコード (別売または市販)
サラウンドスピーカーおよびサラウンドバックスピーカーは別売または市販です。

LS : サラウンドスピーカー (左)

RS : サラウンドスピーカー (右)

- **視聴位置の左右(横またはやや後ろ) に設置してください。**

LB* : サラウンド バックスピーカー (左)

RB* : サラウンド バック スピーカー (右)

- **視聴位置の少し後ろに、耳の位置より 1 m ほど高く設置してください。**

* LB または SBL　　RB または SBR

接続のしかた

■ ワイヤレスシステム

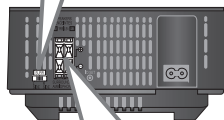
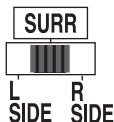
サラウンドスイッチを設定し、スピーカーを本機へ接続する

- ワイヤレス対応機器にサラウンドスピーカーまたは、サラウンドバックスピーカーを接続している場合は、スピーカーコードをはずしてから接続してください。

サラウンドスイッチの設定と接続

接続できるスピーカー

- **インピーダンス**: 3 Ω～6 Ω
- **スピーカー入力**: IEC MAX POWER 100 W 以上（最大入力 100 W 以下のスピーカーを接続すると、スピーカーが壊れる恐れがあります。）

お願い

- 左・右と（⊕、⊖）をご確認のうえ、正しく接続してください。誤った接続をすると故障の原因になります。
- スピーカーコードをショートさせないでください。

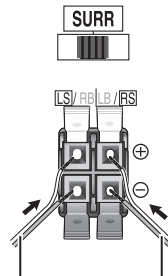
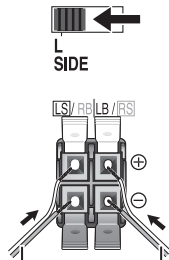
● 5.1 チャンネルのシステムとして使う場合

● 7.1 チャンネルのシステムとして使う場合

左側に設置する本機の設定と接続

L SIDE

LS / RB LB / RS

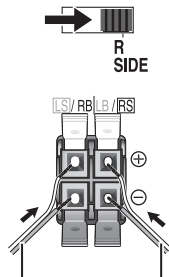
⊕ ⊖

サラウンドスピーカーコード（ LS : 左）

サラウンドバックスピーカーコード（ LB : 左）

右側に設置する本機の設定と接続

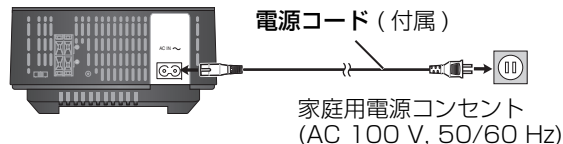
R SIDE

LS / RB LB / RS

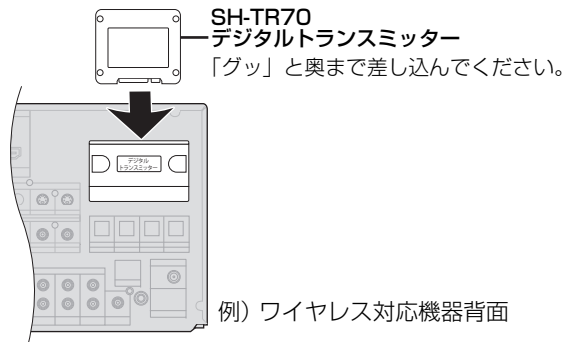
⊕ ⊖

サラウンドバックスピーカーコード（ RB : 右）

サラウンドスピーカーコード（ RS : 右）

■ 電源コード

電源コードは必ず最後に接続してください。

■ デジタルトランスミッター

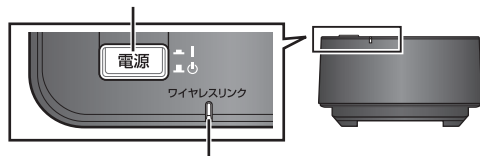
お手持ちのワイヤレス対応機器の取扱説明書もご覧ください。

ワイヤレス対応機器の電源が入っているときは、デジタルトランスミッターを抜き差ししないでください。

使ってみよう

スピーカーの接続が終わったら、実際に本機を使ってみましょう。

- **お手持ちのワイヤレス対応機器の取扱説明書もご覧ください。**
- **7.1 チャンネルのサラウンドシステムを楽しむ場合、“7.1 チャンネルのサラウンドシステムとして使う” (➜ 9 ページ) もご覧ください。**

1 [電源] 本機の電源を入れる

▂ I:　電源「入」の状態
▆ ⏻: 電源「切」の状態

ワイヤレスリンク インジケーター

赤に点灯：電源「入」の状態で、ワイヤレス対応機器とリンクしていないとき
緑に点灯：電源「入」の状態で、ワイヤレス対応機器とリンクしているとき

2 ワイヤレス対応機器側の電源を入れる

ワイヤレス対応機器がワイヤレス信号を検出すると、対応機器側でインジケーターが点灯します。

- インジケーターの種類は、ワイヤレス対応機器ごとに異なります。
詳しくは、ワイヤレス対応機器の取扱説明書をご覧ください。

例）

- インジケーターが点滅した場合、「故障かな！？」をご確認ください。(➜ 16 ページ)

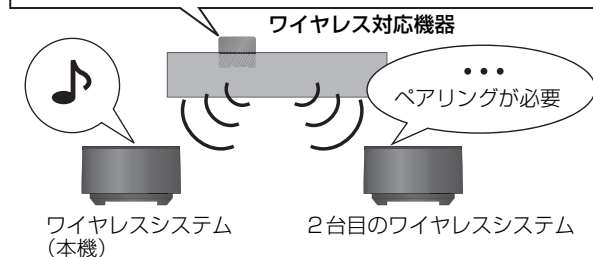
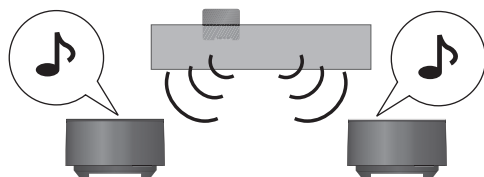
3 ワイヤレス対応機器側で再生を始める

■ 節電のために

電源プラグをコンセントに接続した状態で約 0.2 W の電力を消費しています。長期間使用しないときは節電のため、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。

7.1 チャンネルのサラウンドシステムとして使う

本機（SE-FX70）２台と、サラウンドスピーカー、サラウンドバックスピーカーを組み合わせると、7.1 チャンネルの迫力ある音場効果が楽しめます（➜ 5 ページ）。

通常、１枚のデジタルトランスミッターは、本機１台のみと無線信号のやりとりしています。このため、同時に２台のワイヤレスシステムを使用する場合は、本機のデジタルトランスミッターに対して、２台目のワイヤレスシステムに「ペアリング」設定（➜ 右記）が必要になります。

ペアリング後

- 2 台目に付属のデジタルトランスミッターは、大切に保管しておいてください。

準備

- 2 台目のワイヤレスシステムに、電源コードが接続されていることをお確かめください。
- ワイヤレス対応機器側の電源を入れ、音量を低く設定してください。

1 2 台目のワイヤレスシステムの電源を入れる

2 ワイヤレス対応機器の選曲ボタン [∧ 選曲] と、リモコンの番号ボタン [3] を同時に押す
- ワイヤレス対応機器の表示画面上に “P” が点灯します。

3 “P” が点灯しているあいだ、2 台目のワイヤレスシステム背面の [I/D SET] を押す
- 2 台目のワイヤレスリンク インジケーターが緑色に点灯します。
- [I/D SET] を押す前に “P” が消えてしまったときは、手順２へ戻り、手順を繰り返してください。

ボタンを傷つけることなく押すことができる細い棒などをご使用ください。

4 ワイヤレス対応機器の [∧ 選曲] と、リモコンの番号ボタン [3] を同時に押す

5 2 台目のワイヤレスシステムの電源を「切」「入」する
- 2 台目のワイヤレスリンク インジケーターが緑色に点灯していることをご確認ください。

お知らせ

- デジタルトランスミッターを交換してお使いになる場合、両方のワイヤレスシステムに対して、1 台ずつペアリング設定を行ってください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ **誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。**

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ **お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）**

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない)

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

⚠ 警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災·感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

異常があったときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき
- 落下などで外装ケースが破損したとき
- 煙や異臭、異音が出たとき

そのまま使うと、火災·感電の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

分解、改造をしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠ 警告

自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くで本機を使用しない

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所で本機を使用しない

本機からの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤作動による事故の原因になります。

心臓ペースメーカを装着している方は装着部から22 cm以内で本機を使用しない

本機からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**

倒れたり落下すると、けがや製品の故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。
たばこの煙なども製品の故障の原因になることがあります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、外装ケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

- 通気孔をふさがないでください。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

故障かな！？

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここを処置・確認してください
電源が入らない	●電源プラグをコンセントへしっかりと差し込んでください。
ワイヤレス対応機器のワイヤレスオプションランプが点滅している	●本機と対応機器とがワイヤレスでリンクされていません。対応機器の電源を「切」「入」してください。また、本機の電源コードが正しく接続されているか確認してください。
ワイヤレス対応機器のワイヤレスオプションランプが消灯している	●本機の電源コードが正しく接続されているか確認してください。 ●デジタルトランスミッターが対応機器に正しく差し込まれているか確認してください。 ●対応機器側でサラウンドサウンドの音声設定が選ばれてるか確認してください。

仕様

ワイヤレス部

ワイヤレスモジュール

使用周波数帯域： 2.4 GHz ～ 2.4835 GHz
チャンネル数 3

アンプ部

実用最大出力：

●RMS 出力 (マルチチャンネルモード；1ch 動作)
サラウンド
90 W/ch × 2（1 kHz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %）

●RMS 出力 (ステレオモード；両 ch 動作)
ステレオ時
40 W + 40 W（1 kHz 3 Ω 全高調波ひずみ率 10 %）
合計 80 W

適応スピーカーインピーダンス 3 Ω～6 Ω

総合

電源： AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：
SH-TR70 1.5 W
SE-FX70 46 W

寸法 (幅 × 高さ × 奥行き)：
SH-TR70 65.6 mm × 52 mm × 8.6 mm
SE-FX70 165 mm × 91.5 mm × 180 mm

質量：
SH-TR70 約 0.022 kg
SE-FX70 約 0.688 kg

許容周囲温度： 0 ℃ ～ +40 ℃
許容周囲湿度： 20 % ～ 80 % RH（結露なきこと）

電源「スタンバイ」時： 約 0.2 W

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理·お取り扱い·お手入れなどのご相談は···
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- **修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **使いかた・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！**

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このワイヤレスシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるとき

16ページの「故障かな！？」に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	ワイヤレスシステム
品　番	SH-FX70
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。

http://panasonic.jp/support/

●保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料·部品代·出張料などで構成されています。

技術料 は、診断·故障個所の修理および部品交換·調整·修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理に関するご相談

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- 呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/光電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

使いかた・お買い物などのご相談

パナソニック お客様ご相談センター

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル 0120-878-365（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… 06-6907-1187

FAX フリーダイヤル 0120-878-236

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444 **Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区

地区	住所・電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通16丁目1166 ☎(0166)22-3011
帯広	帯広市西20条北2丁目23-3 ☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内） ☎(0138)48-6631

東北地区

地区	住所・電話
青森	青森市大字浜田字豊田364 ☎(017)775-0326
秋田	秋田市外旭川字小谷地3-1 ☎(018)868-7008
岩手	盛岡市厨川5丁目1-43 ☎(019)645-6130
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75 ☎(023)641-8100
福島	郡山市亀田1丁目51-15 ☎(024)991-9308

首都圏地区

地区	住所・電話
栃木	宇都宮市上戸祭3丁目3-19 ☎(028)689-2555
群馬	前橋市箱田町325-1 ☎(027)254-2075
茨城	つくば市筑穂3丁目15-3 ☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2 ☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区末広5丁目9-5 ☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13 ☎(055)222-5822
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎(045)847-9720
新潟	新潟市東区東明1丁目8-14 ☎(025)286-0180

※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

パナソニック 修理ご相談窓口

● 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

中部地区

石川 金沢市横川3丁目20 ☎ (076)280-6608	**長野** 松本市寿北7丁目3-11 ☎ (0263)86-9209	**岐阜** 岐阜市中鶉4丁目42 ☎ (058)278-6720
富山 富山市根塚町1丁目1-4 ☎ (076)424-2549	**静岡** 静岡市葵区千代田7丁目7-5 ☎ (054)287-9000	**高山** 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613
福井 福井市問屋町2丁目14 ☎ (0776)21-0622	**愛知** 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225	**三重** 津市久居野村町字山神421 ☎ (059)254-5520

近畿地区

滋賀 栗東市霊仙寺1丁目1-48 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市城東区関目2丁目15-5 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)646-2123	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4 ☎ (078)796-3140

中国地区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音1丁目13-5 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口市小郡下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四国地区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1 ☎ (089)905-7544
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九州地区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 天草市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1919-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 奄美市名瀬朝仁町11-2 ☎ (0997)53-5101

沖縄地区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11	☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0608

－このマークがある場合は－

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

愛情点検　**長年ご使用のワイヤレスシステムの点検を!**

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ このような症状のときは、使用を中止し、故障や事故防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ　（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	SH-FX70
販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社
ネットワーク事業グループ

〒 571－8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

RQTX0162-MS
F0608KW3088